

適合規格	鋼道路橋塗装用塗料標準 A・B、NEXCO P-11A・B			
系統	変性エポキシ樹脂塗料内面用 A・B			
特長	1) 温度に関係なく使用できます。 2) 耐水性、耐海水性、耐薬品性が優れています。 3) 耐衝撃性、耐屈曲性、耐摩耗性に優れています。			
推奨用途	橋梁の箱桁内面、橋脚内面、塔の内面用下塗り			
荷姿	18kgセット【A(主剤):B(硬化剤)=15.3kg:2.7kg】		労働安全衛生規則による表示の種別	
混合比	A(主剤):B(硬化剤)=85:15(重量比)		A(主剤):SDS参照	
色相	白・グレー・黒・ダークブラウン		B(硬化剤):SDS参照	
乾燥時間		5℃	23℃	30℃
	指触	4時間	2時間	1.5時間
	硬化	24時間	12時間	8時間
塗装間隔	下限	2日	1日	1日
	上限	10日	10日	10日
可使時間		8時間	5時間	3時間
塗装方法	エアレス		はけ・ローラー	
標準塗付量	410g/m <sup>2</sup>		200g/m <sup>2</sup>	
標準乾燥膜厚	120μm		60μm	
ウェット膜厚	238μm		119μm	
希釈剤	トアエポキシシンナー#1000		毒物および劇物取締法による表示	
希釈率	エアレス:0~5% はけ・ローラー:0~5%		—	
塗料密度	1.37g/ml (混合物)(白)			
使用上の注意事項	1) 製品説明書に示された可使時間を厳守してください。 2) エポキシ樹脂塗料の取扱基準により、注意して取り扱ってください。 3) 塗重ねを塗装間隔の上限をこえて行う場合は被塗面を粗してから塗装してください。 4) 塗料缶に表示している安全衛生上の注意事項を確認の上、ご使用ください。 5) 引火点、発火点、爆発限界等は、SDSをご参照ください。			
エアレス塗装条件	吐出圧:10~15MPa		チップNo.:163-519、521	
	ノズルチップ流出量(ml/min):1000~1400			
適合する主な下塗塗料および上塗塗料	下塗	ガルヴァー#800、エピライト#1000CP		
	上塗			

# 組成表・試験成績表

株式会社 トウペ

商 品 名	エピライト#4300NT
規 格	社内規格

組 成  (N-7)	成 分		% (重量比)
	A (主剤)	着 色 顔 料 体 質 顔 料 特 殊 石 油 系 樹 脂 ワ ニ ス エ ポ キ シ 樹 脂 ワ ニ ス 安 定 剤 溶 剤	6.0 35.0 8.0 19.0 6.0 11.0
B (硬化剤)	変性ポリアミドアミン樹脂ワニス	15.0	
合 計		100.0	

試 験 結 果		数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	結 果	規 格	
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	
塗装作業性	合 格	エアレススプレー塗りの作業に支障があってはならない。	
乾燥時間 (h)	合 格	24以下	
塗膜の外観	合 格	塗面を見て平らさは良好で流れ、つぶ・しわ・むら・割れ・膨れ・穴・はがれがないこと。なお、指定色の場合は、色見本帳と比べて差異がないこと。	
ポットライフ (h)	合 格	23℃で使用できる時間が5以上であること。	
耐衝撃性	合 格	500gのおもりを300mmの高さから落としたとき、おもりの衝撃で割れ、およびはがれが生じてはならない。	
塩水噴霧試験	合 格	192時間の塩水噴霧に耐えるものとする。	
耐湿性	合 格	温度50℃、相対湿度95%以上で120時間の試験に耐えるものとする。	
混合塗料中の加熱残分 (%)	68	60以上	

# 組成表・試験成績表

株式会社 トウペ

商 品 名	エピライト#4300NT
規 格	社内規格

組 成	成 分		% (重量比)
(N-8.5)	A (主剤)	着 色 顔 料 体 質 顔 料 特 殊 石 油 系 樹 脂 ワ ニ ス エ ポ キ シ 樹 脂 ワ ニ ス 安 定 剤 溶 剤	6.0 35.0 8.0 19.0 6.0 11.0
	B (硬化剤)	変性ポリアミドアミン樹脂ワニス	15.0
	合 計		100.0

試 験 結 果	数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	結 果	規 格
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合 格	エアレススプレー塗りの作業に支障があってはならない。
乾燥時間 (h)	合 格	24以下
塗膜の外観	合 格	塗面を見て平らさは良好で流れ、つぶ・しわ・むら・割れ・膨れ・穴・はがれがないこと。なお、指定色の場合は、色見本帳と比べて差異がないこと。
ポットライフ (h)	合 格	23℃で使用できる時間が5以上であること。
耐衝撃性	合 格	500gのおもりを300mmの高さから落としたとき、おもりの衝撃で割れ、およびはがれが生じてはならない。
塩水噴霧試験	合 格	192時間の塩水噴霧に耐えるものとする。
耐湿性	合 格	温度50℃、相対湿度95%以上で120時間の試験に耐えるものとする。
混合塗料中の加熱残分 (%)	68	60以上

# 組成表・試験成績表

株式会社 トウペ

商 品 名	エピライト#4300NT
規 格	社内規格

組 成  (ブラウン)	成 分		% (重量比)
	A (主剤)	着 色 顔 料 体 質 顔 料 特 殊 石 油 系 樹 脂 ワ ニ ス エ ポ キ シ 樹 脂 ワ ニ ス 安 定 剤 溶 剤	4.0 37.0 8.0 19.0 6.0 11.0
B (硬化剤)	変性ポリアミドアミン樹脂ワニス	15.0	
合 計		100.0	

試 験 結 果		数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	結 果	規 格	
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	
塗装作業性	合 格	エアレススプレー塗りの作業に支障があってはならない。	
乾燥時間 (h)	合 格	24以下	
塗膜の外観	合 格	塗面を見て平らさは良好で流れ、つぶ・しわ・むら・割れ・膨れ・穴・はがれがないこと。なお、指定色の場合は、色見本帳と比べて差異がないこと。	
ポットライフ (h)	合 格	23℃で使用できる時間が5以上であること。	
耐衝撃性	合 格	500gのおもりを300mmの高さから落としたとき、おもりの衝撃で割れ、およびはがれが生じてはならない。	
塩水噴霧試験	合 格	192時間の塩水噴霧に耐えるものとする。	
耐湿性	合 格	温度50℃、相対湿度95%以上で120時間の試験に耐えるものとする。	
混合塗料中の加熱残分 (%)	68	60以上	

# 組成表・試験成績表

株式会社 トウペ

商 品 名	エピライト#4300NT
規 格	社内規格

組 成 (黒)	成 分		% (重量比)
	A (主剤)	着 色 顔 料 体 質 顔 料 特 殊 石 油 系 樹 脂 ワ ニ ス エ ポ キ シ 樹 脂 ワ ニ ス 安 定 剤 溶 剤	2.0 39.0 8.0 19.0 6.0 11.0
B (硬化剤)	変性ポリアミドアミン樹脂ワニス	15.0	
合 計		100.0	

試 験 結 果		数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	結 果	規 格	
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	
塗装作業性	合 格	エアレススプレー塗りの作業に支障があってはならない。	
乾燥時間 (h)	合 格	24以下	
塗膜の外観	合 格	塗面を見て平らさは良好で流れ、つぶ・しわ・むら・割れ・膨れ・穴・はがれがないこと。なお、指定色の場合は、色見本帳と比べて差異がないこと。	
ポットライフ (h)	合 格	23℃で使用できる時間が5以上であること。	
耐衝撃性	合 格	500gのおもりを300mmの高さから落としたとき、おもりの衝撃で割れ、およびはがれが生じてはならない。	
塩水噴霧試験	合 格	192時間の塩水噴霧に耐えるものとする。	
耐湿性	合 格	温度50℃、相対湿度95%以上で120時間の試験に耐えるものとする。	
混合塗料中の加熱残分 (%)	68	60以上	

# 組成表・試験成績表

株式会社 トウペ

商 品 名	エピライト#4300NT
規 格	社内規格

組 成	成 分		% (重量比)
(ダークブラウン)	A (主剤)	着 色 顔 料 体 質 顔 料 特 殊 石 油 系 樹 脂 ワ ニ ス エ ポ キ シ 樹 脂 ワ ニ ス 安 定 剤 溶 剤	4.0 37.0 8.0 19.0 6.0 11.0
	B (硬化剤)	変性ポリアミドアミン樹脂ワニス	15.0
	合 計		100.0

試 験 結 果	数値は測定値であり、保証値ではありません。	
試 験 項 目	結 果	規 格
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合 格	エアレススプレー塗りの作業に支障があってはならない。
乾燥時間 (h)	合 格	24以下
塗膜の外観	合 格	塗面を見て平らさは良好で流れ、つぶ・しわ・むら・割れ・膨れ・穴・はがれがないこと。なお、指定色の場合は、色見本帳と比べて差異がないこと。
ポットライフ (h)	合 格	23℃で使用できる時間が5以上であること。
耐衝撃性	合 格	500gのおもりを300mmの高さから落としたとき、おもりの衝撃で割れ、およびはがれが生じてはならない。
塩水噴霧試験	合 格	192時間の塩水噴霧に耐えるものとする。
耐湿性	合 格	温度50℃、相対湿度95%以上で120時間の試験に耐えるものとする。
混合塗料中の加熱残分 (%)	68	60以上